

患者様・ご家族の皆様へ



転倒・転落防止対策について

入院生活をする病院の環境は住みなれた家庭とは異なります。その生活環境の変化に加え、病気やけがによる運動機能の低下や加齢に伴う認識力の低下により思いがけない転倒・転落事故が起こることも少なくありません。高齢者の方は特に注意が必要です。

当院では療養環境を整備することにより転倒・転落の予防に努め、安全で快適な生活を送っていただけるよう努力しておりますが、患者様のご自身で動くことで発生する転倒・転落は完全に防ぐことはできませんのでご理解をお願いします。

安全な入院生活を送るために、患者様やご家族の方々と一緒に、転倒・転落の予防に努めますので、ご協力をお願いします。

安全で快適な入院生活を過ごしていただくために

1. 転倒・転落予防のための注意点

- 1 スリッパ・サンダルは脱げやすく滑りやすいので危険です。
靴タイプの室内履きが安全です。
ナースステーションで転倒予防シューズ（リハビリにも利用）を取り扱っています。
- 2 めがねや補聴器は、愛用の物をお持ちください。
- 3 杖などは先端が滑らない物が良いでしょう。
- 4 寝間着の裾は体にあった長さにしましょう。
- 5 転倒・転落はベッドの周囲で多発しています。特に普段ベッドを使用されていない方は注意が必要です。
- 6 男性トイレに多少段差がありますので注意して歩行してください。
- 7 廊下やトイレなどでは濡れた所をさけて滑らないように注意し、近くの職員までお知らせください。
- 8 睡眠薬や鎮静剤を内服した場合は、眠気やふらつきが出やすく転倒の危険性が高くなります。特に夜間のトイレへの歩行は注意が必要です。
- 9 トイレへの移動時など、不安な時は一人で無理せず看護師に介護をご依頼ください。



2. 療養具の安全な使用について

ベッド



○ベッドからの転落を防ぐために、ベッド柵を活用しましょう
○寝たまま、床頭台などの物を取らないようにしましょう



○ベッドから降りるときは、ベッド柵が固定されていることを確認しましょう
○ベッドから降りるときは、両足をしっかり床につけてから降りましょう



○ベッド柵やベッド柵間に、身体が挟まれないように注意しましょう
○ギャッジアップするときは、身体、ナースコールなどがベッド柵に引っかかっていないことを確認しましょう

車いす



○車いすの停止時には、ストッパー、ブレーキを必ずかけましょう
○車いすにしっかり乗車したあとに、フットレストに足を乗せましょう
○車いすから降りるときは、フットレストを必ず上げましょう



○車いすに浅く座っているとずり落ちる可能性があるため、深く座りましょう



○背もたれに体重をかけすぎないように注意しましょう。とくに酸素ボンベ使用時は、バランスが不安定になっている場合があります

点滴スタンド



○エレベーターやトイレに入るときはキャスターがつかないように注意して移動しましょう



○点滴スタンドのフックが、カーテンの網に引っかかる可能性があるため、注意して移動しましょう

オーバーベッドテーブル



○オーバーベッドテーブルにはストッパーがないので寄りかかって滑らないようにしましょう